

# 令和2年度授業改善推進プラン

## 東村山市立東村山第五中学校 第1学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
国語	知識及び技能	文法事項の習得は授業での理解ができて、定着がなかなか難しいように思う。漢字の習得も量とともに、意欲が下がっていく傾向がある。	漢字の小テストはやり方をいろいろ変えながら、継続して定着を図る。文法事項に関しては、授業プリントを工夫して、学習のポイントを捉えさせる。
	思考力, 判断力, 表現力等	自分の考えや意見をまとめた内容や課題の要点を捉えて、適切な言葉で表現したり、話し合ったりすることを苦手とする生徒が多くみられる。	自分の考えや意見や感想を適切な言葉を使って表現する学習の機会を増やしていく。授業で重要なポイントがわかりやすくなるようにプリントの工夫などして、意欲を高めていきたい。
	学びに向かう力, 人間性等	授業の内容に興味がとてもわくと答えた生徒の割合が低く、それにともない、学びに向かう意識がなかなかあがらず、宿題忘れにもつながっているのかもしれない。	授業で重要なポイントを整理し、分かりやすい説明と、適切な進度で、興味関心を持たせていく。
社会	知識及び技能	単純な一問一答形式の問題には、解答できる生徒は多い。しかし、その知識を用いた発展的、複合的な問題に対処する技能は乏しい。	単元ごとの振り返り等で、知識の定着を確認するとともに、知識を複合的に用いながら課題解決を目指す取組を取り入れていく。
	思考力, 判断力, 表現力等	自分の考えや資料から読み取ったことを表現することが苦手な生徒が多い。他の生徒の意見に同調し、深く考えることを諦めようとする姿勢にも課題がある。	日頃の取組での訓練不足からテストで点数をとれないことを繰り返し伝えるとともに、課題解決型の取組を反復し苦手意識が軽減するような指導を行う。
	学びに向かう力, 人間性等	提示した写真や資料への興味は高く、知的な欲求は見られるが、得た知識から深めていこうとする向上心に乏しい点に課題がある。	引き続きICT機器を用いた資料提示を大切にしながら、学習方法の提案や得た知識を駆使して取り組む活動を増やしていく。
数学	知識及び技能	計算問題や知識問題では、多くの生徒が理解し、問題を解くことができる。しかし、小学校の既習事項が定着していない生徒も一定数いて、習熟度別でも差がある。	授業の導入では、前時に学んだことを復習する。また演習の時間も取り入れ、反復練習をし知識及び技能の定着を図る。
	思考力, 判断力, 表現力等	文章問題では、何を求めるか多くの生徒が理解をしている。しかし、課題を解決するため何をするのか、既習事項を用いて物事を処理することが苦手な生徒が多い。	文章の内容をポイントに分けて説明する。図や表を用いる。また、ICT教材を活用して視覚的に分かりやすい指導をしていく。
	学びに向かう力, 人間性等	新しい環境で、新しいことを学ぶことを期待して、意欲的に取り組んでいる生徒が多い。しかし算数での苦手意識があり、意欲的に取り組めない生徒が一定数いる。	個別の演習だけでなく、学び合い教え合いの活動も取り入れ、「分かる・できる」という実感できる指導をしていく。

# 令和2年度授業改善推進プラン

## 東村山市立東村山第五中学校 第1学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
理科	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な概念や原理、法則に関する知識はある程度理解できているが、記述式や発展問題に関する苦手意識が強い生徒も多い。</li> <li>実験器具の使用技術やスケッチの技能等に差がある。実験観察は好きだが大幅に時間を要する生徒も多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の初めに前時の振り返りの時間を設けていく。板書記録やテスト直しの際に、関連づけて内容を理解させ、知識を定着させられるように個別の学習アドバイスの機会を増やしていく。</li> <li>パフォーマンステストや少人数による作業を多く取り入れる。</li> </ul>
	思考力, 判断力, 表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>ねらいをふまえて仮説を立てること、見通しをもって取り組むこと、得られた結果から自ら考察し、答えを出すことに対して苦手意識がある。</li> <li>4人組の学習班でのホワイトボードを活用した話し合い活動では、活発に意見交換できる生徒も多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>なぜそうなるのか、見通しを立てるための時間と、結果から考察するため時間を十分に確保して授業展開を図る。</li> <li>話し合いで投げかける内容をより吟味し、質の高い学習を心がける。</li> </ul>
	学びに向かう力, 人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験や観察に対して興味、関心がある生徒が多い。発言も意欲的にできる。</li> <li>学習した内容と、身近な自然現象を結び付けて考えていけるようにさせたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入の部分で、身近な話題と関連したクイズを出題する。</li> <li>ICTを効果的に用い、主体的に対話的な学びを意識していく。</li> <li>頑張る生徒の取り組みを積極的に紹介する。</li> <li>学んだ知識がどのように暮らしや社会につながるのかを意識した学習のまとめを行う。</li> </ul>
音楽	知識及び技能	出身小学校によつての差はあまりなく、基礎基本から学習していることもあり、つまづきはあまり感じない。歌唱についての技能はこれからである。	歌唱についての技能はこれからのので、姿勢や楽譜の持ち方などの基礎を着実に身に付けるよう、毎時間繰り返す。
	思考力, 判断力, 表現力等	音楽を感じる耳の使い方を学びながら授業に臨んでいる。比較的自由に発想し、伝えることが出来るが、更に考えを深めていきたいと感じる。	前期は、思考・判断のできるヒントを常に与えながら考えさせる場面が多かった。今後はどこでどんな要素を使って思考したらよいかを自主的に考えさせていく。
	学びに向かう力, 人間性等	授業アンケートによると、大多数の生徒が興味をもって活動できていることがわかる。毎回の授業に期待をもって音楽室に来ることに対し応えていかねばならない。	前期に行っている学習カードや、頑張りを認める取り組みを継続する。次に進みたくなる心理を捉えた授業を心がけ、自主的に活動するチャンスを与える。
美術	知識及び技能	観察や提出物等から、物事をしっかりと捉える力はあるが、自分で創意工夫して表現する技能が足りないと感じた。	表現方法の知識が足りないと思うので、参考作品を例示しながら説明したり、基礎的な技能を身につけさせたりする授業を取り入れる。
	思考力, 判断力, 表現力等	夏休みの課題等から造形的なよさや美しさ、表現の意図や工夫を自分なりに捉えて、伝える力が身につけていると感じ、さらに深めていきたい。	よさや美しさ、表現の意図や工夫などを感じ取ったり、考えたりしたことから、さらに発想や構想に繋げることができるよう授業内容やワーク等を改善していく。
	学びに向かう力, 人間性等	主体的に創作活動を行う生徒が多いが、苦手意識のある生徒が少数いる。自分なりに「上手くいっていない」と感じ、諦めてしまうことがある。	これからも生徒にとって魅力ある授業内容になるように努めるとともに、「上手くいっていない」と生徒が感じている部分を机間指導等でフォローしていきたい。

# 令和2年度授業改善推進プラン

## 東村山市立東村山第五中学校 第1学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
保健体育	知識及び技能	体力や技能向上、健康の保持増進のために、意欲的に取り組む生徒が多い。一方で、身体の動かし方のポイントを理解できず、体力や技能に大きな差がみられる。	ICT機器を活用し、理解を深める。単元に合わせたコーディネーショントレーニングを実践したり、反復的な練習を重視しながら授業を進めていく。
	思考力, 判断力, 表現力等	指示に対して、きちんと取り組もうとする姿勢が多く見られる。互いを高め合うために、アドバイスをし合うなどの意識が低い感がある。	記録や技能テスト、学習カードでの振り返りを活用して、自己の課題を明確にさせる。また、生徒同士の話し合いの時間を多くとり、主体的に課題を解決できるように指導していく。
	学びに向かう力, 人間性等	体を動かすことや、各単元・種目に対する興味や関心度は高い。不得意な単元でも、積極的に取り組もうとする生徒が多くみられる。興味・関心が高く、各自で課題に取り組む時間を確保するように工夫している。	「できた・わかった」という実感を多く得て、次の学習への意欲を高められるよう指導していく。授業規律を確立させ、安全に授業が行えるようにしていく。
技術・家庭	知識及び技能	作業に関する知識はあるものの、手先を使う基礎縫いや加工技術が低下している。	ペアワークや優れた作品を紹介し、技術向上の糸口をつかませる。
	思考力, 判断力, 表現力等	安易に課題や作品を完成させる傾向がある。	作業のポイントや仕上がりを例示し、作業イメージをもたせる。
	学びに向かう力, 人間性等	住まいの環境や技術社会の問題を自身の生活に結び付けられていない。	授業で学んだことを生活の中で役だてて、柔軟な発想と豊かな生活を送る方法を考えさせる。
英語	知識及び技能	英語の音声の特徴や特性を理解し、発話することはできている。しかし、音と文字がまだ一致していない生徒が多く見受けられる。	小テストや文法の確認を繰り返し行い練習させることで、定着をはかっていく。
	思考力, 判断力, 表現力等	現時点では、ひたすらインプットをしている段階であり、それをもとに考えたり、判断したりする段階ではない。	年度末に向けて、インプットしたことをアウトプットしていく活動に入っていく。
	学びに向かう力, 人間性等	授業に意欲的に取り組む生徒がほとんどである。家庭学習への取り組みに個人差がある。	家庭学習の重要性や学習の仕方を丁寧に指導していく。

# 令和2年度授業改善推進プラン

## 東村山市立東村山第五中学校 第1学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
道徳	道徳的な感じ方・考え方や行為（道徳的心情）	道徳的な価値について、深く考えようとしている生徒が多い。授業では、多面的な考えをすることはまだ難しいが、生徒の視点で考えている。	自分自身のことや周囲との関わりについての考え方を、話し合い活動を通して深めさせたい。
	道徳的な問題場面で思考し判断する力（道徳的判断力）	道徳的な価値について、あるべき方向性で考え、判断することはできるが、多面的・多角的に判断することは難しい。	常に自分ならという立場と相手ならという立場で考えさせ、多面的・多角的にとらえさせる。
	道徳的によりよく生きようとする傾向性（道徳的実践意欲と態度）	中学校生活の中で、道徳性を発揮している生徒は多くはない。様々な機会を通して実践的態度を養う必要がある。	授業で、自分のこれからの行動を具体的に考えるような発問を設定する。それを踏まえて行動していくように指導していく。
特別活動	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団生活に自信をもって関わっていけるための知識やアイデアをもたせていく必要がある。</li> <li>・自己の生活向上や集団活動を高めていくためにはどのような目標設定や取り組みが必要か、学級活動でのふり返りを通して身につけていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の係や委員会活動を通して、役割や責任をより意識して取り組ませる。</li> <li>・学期の振り返りや生活の見直しに関する学級会を行う中で、話し合い活動の仕方や合意形成の図り方などの技能を身につけさせる。</li> <li>・個人や学級のよりよい取組の情報共有し、自分たちの生活向上に役立てさせていく。そのためのフィードバックを工夫する。（担任の話や学級通信、学年通信等を活用する）</li> </ul>
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いに協力したり注意し合える関係性がまだまだ不足している。より良い人間関係づくりのための話し合い活動や交流の機会が必要である。集団力の向上と諸問題の解決に向け、一人一人が意見を出し合い、お互いを認め合えるような環境づくりをしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級力アンケートを活用し、学級や自分自身の生活の充実や向上のために、自分たちからすすんで現状把握を行わせる。</li> <li>・解決方法を話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしていく学級会の機会を多くもたせていく。</li> </ul>
	主体的に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に明るく素直な集団だが、自尊感情が低い生徒も多い。何か問題が起きたときに報告できる力や集団生活を皆で高めようとする意識はまだ不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己有用感を高めさせるための教員側のアプローチを工夫していく（相互評価を活用したり、皆の前でほめる場面などを意図的に作っていく）。</li> <li>・様々な場面で個別のアドバイスを与えていく。</li> <li>・何事にも役割分担をもたせ、責任をもって行動させていけるよう、意図的に環境設定していく。当事者意識をもって取り組ませる。生徒の活動を認め、賞賛していく。</li> </ul>
総合的な学習の時間	課題設定の能力と主体的な学習の態度	個人で課題を設定する知識や技能が乏しい生徒がいる。具体的な例をあげながら、教員側でいくつかの課題を示しつつ、個人に選択させる形から発展させる形が良い。	職業調べなど、身近な問題を取り上げながら、キャリア教育の内容と関連付けて設定させていく。
	問題を解決する資質や能力と発表する力	ある程度の手順や、方法を示すと意欲的に取り組むことができる一方、継続して取り組むことが難しい生徒もいる。興味・関心のあることには、積極的に取り組む。	日常的に個人や班活動で発表する機会をもてるようにする。
	自己を理解し、職業や将来の生き方を考える力	将来のことを考える力は育っていない。コミュニケーションが苦手な生徒も多い。班活動での人間関係づくりから始める必要がある。	キャリア教育と関連付けて、自分自身の将来を考える機会を多く設定していく。また個別に適切な助言も与えていく。